

令和6年4月25日
国土交通省関東地方整備局
国営昭和記念公園事務所

東京、埼玉、神奈川所在の4国営公園等の整備・管理について

～令和6年度 国営昭和記念公園事務所の事業概要～

令和6年度における国営昭和記念公園事務所の事業内容（国営昭和記念公園、国営武蔵丘陵森林公園、国営東京臨海広域防災公園、明治記念大磯邸園）をお知らせいたします。

詳細は、次頁以降の事業概要資料をご覧ください。

<発表記者クラブ>

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、都庁記者クラブ、立川市政記者クラブ、埼玉県政記者クラブ、川越市政記者クラブ、東松山市政記者クラブ、熊谷市政記者クラブ、神奈川県政記者クラブ

<問い合わせ先>

関東地方整備局 国営昭和記念公園事務所

【全体】（昭和記念・東京臨海）

副所長 松澤 義明（まつざわ よしあき）

電話：042-524-1516 FAX：042-526-1466

（武蔵丘陵・明治記念）

副所長 丸山 徳彦（まるやま なるひこ）

電話：0463-79-8700 FAX：0463-79-8701

【各公園の事業概要について】

<国営昭和記念公園>

調査設計課長 田中 希依（たなか きえ）

電話：042-524-1089 FAX：042-526-1466

<国営武蔵丘陵森林公園>

国営武蔵丘陵森林公園出張所長 近田 由希子（ちかた ゆきこ）

電話：0493-57-2115 FAX：0493-56-5377

<国営東京臨海広域防災公園>

地域防災調整官 樋口 淳司（ひぐち あつし）

電話：03-3529-2171 FAX：03-3529-2173

<明治記念大磯邸園>

副所長 丸山 徳彦（まるやま なるひこ）

電話：0463-79-8700 FAX：0463-79-8701

国営昭和記念公園事務所の所管公園等



名称	R6年度事業費(百万円)			
	整備費	維持管理費	営繕宿舍費	計
国営昭和記念公園	249	1,190	0	1,439
国営武蔵丘陵森林公園	65	952	1	1,018
国営東京臨海広域防災公園	0	204	0	204
明治記念大磯邸園	3,094	0	5	3,099
計	3,407	2,346	6	5,759

注：計数は、それぞれ四捨五入しているため端数において合計と一致しない場合があります。

国営昭和記念公園（東京都立川市・昭島市）

1. 公園概要

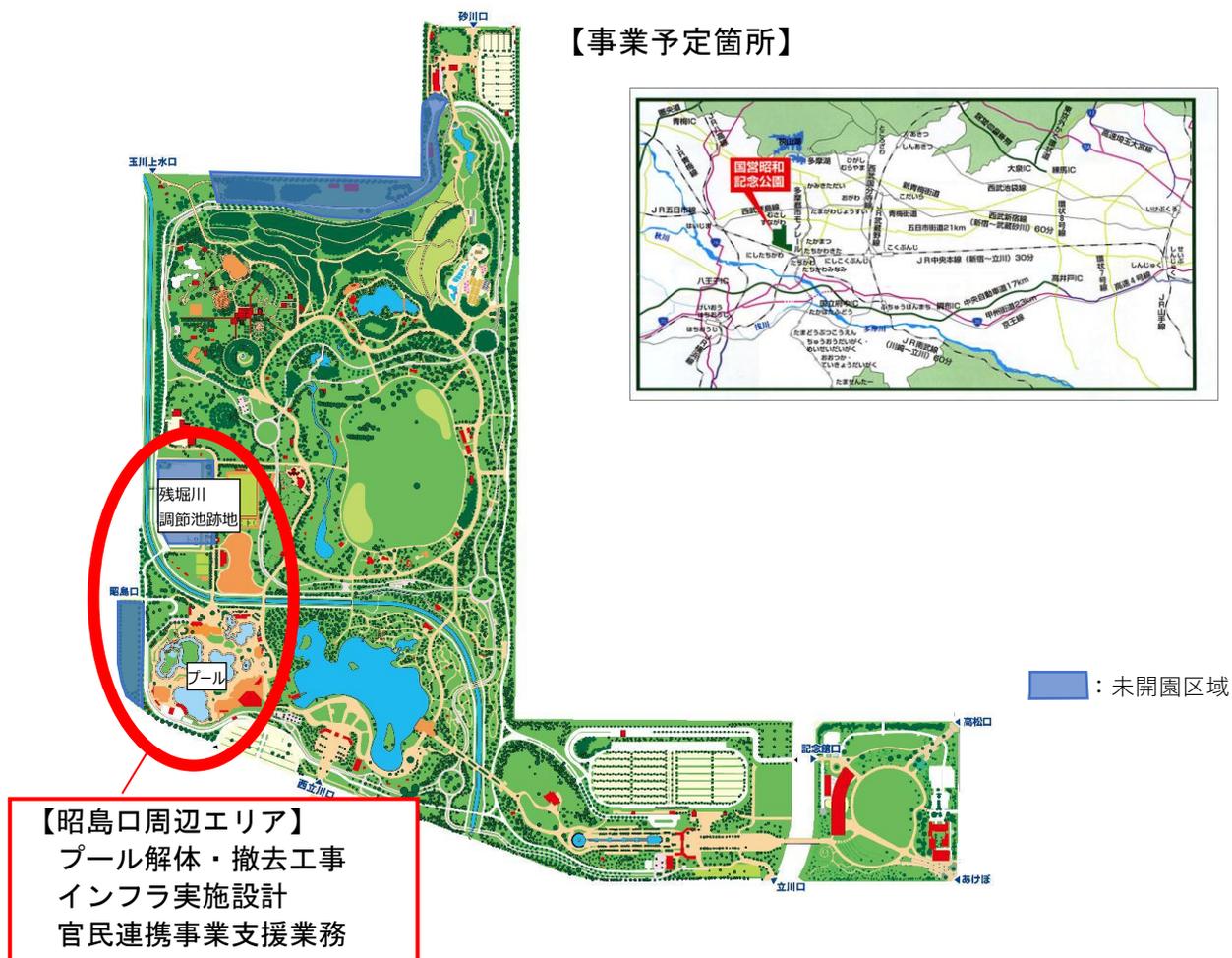
本公園は、昭和天皇御在位五十年記念事業として、昭和54年11月の閣議決定により整備を進めている口号国営公園です。昭和55年から事業に着手し、昭和58年10月に第1期開園し、計画面積約180.1haのうち、約169.4haを供用しています。さらに、開園から40年が経過し、施設の老朽化を含め、本公園を取り巻く状況の変化に対応するため、現在、昭島口周辺エリアの再整備の準備を進めています。令和5年度には昭島口西側約1.2haの区域が、追加で都市計画決定されました。

年間入園者数については、コロナ禍以前は例年400万人前後でしたが、コロナ禍以降、令和2年度は約179万人まで減少しました。行動制限が緩和された令和5年度は約346万人と回復傾向になっています。

なお、令和4年4月に第1期開園以来の累計入園者数が1億人に到達しております。

2. 事業概要

- ① 老朽化したプールの解体・撤去を行います。
- ② 未開園区域の残堀川調節池跡地周辺のインフラ実施設計を行います。
- ③ プールや残堀川調節池跡地等を含む昭島口周辺エリアを対象とした官民連携事業に関する事業者の公募仕様を検討いたします。



国営武蔵丘陵森林公園（埼玉県比企郡滑川町・熊谷市）

1. 公園概要

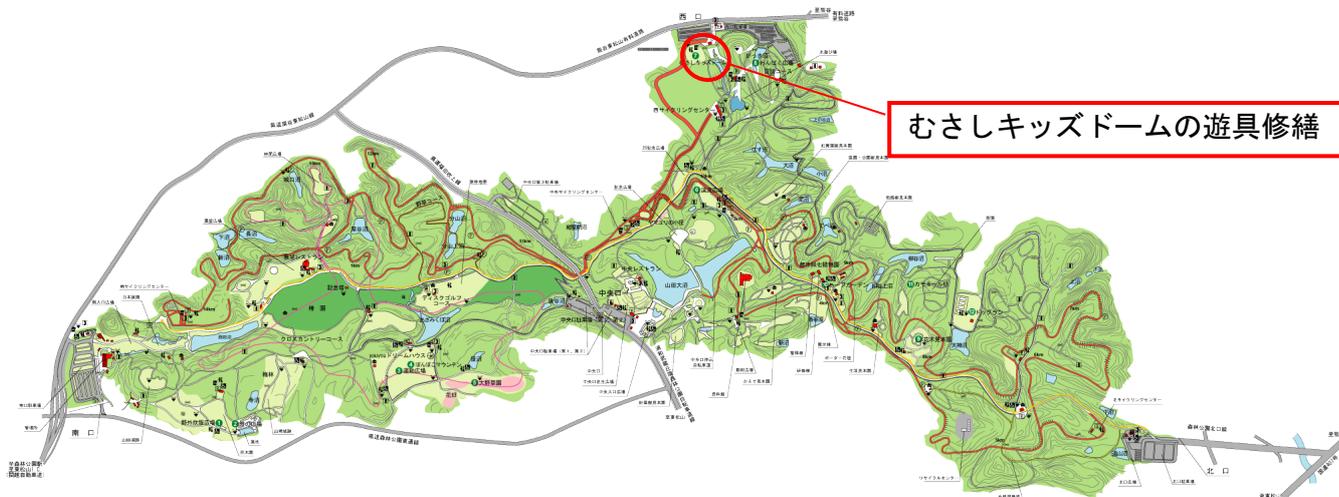
本公園は、明治百年記念事業の一環として、自然を失いつつある都市の住民が緑を通じて人間性を回復する場を確保するため整備された、全国で初めての国営公園（口号）です。昭和43年度から事業に着手し、昭和49年度に概成開園し、約304haの全園を供用しました。今年開園50周年を迎えます。年間入園者数は、コロナ禍以前は例年90万人前後でしたが、コロナ禍以降、令和2年度は約69万人まで減少しました。行動制限が緩和された令和5年度は約76万人と回復傾向になっています。

2. 事業概要

- ① 開園50周年を迎え、社会の変化や利用者ニーズを踏まえ、効率的な維持管理のあり方を検討します。
- ② 公園利用者の安全確保のため、むさしキッズドームの遊具修繕及び園内の枯損木伐採を行います。



【事業予定箇所】



国営東京臨海広域防災公園（東京都江東区）

1. 公園概要

本公園は、都市再生プロジェクト第1次決定の一環として、平成16年1月に決定された「東京湾臨海部基幹的防災拠点整備基本計画」に基づき整備されたI号国営公園です。

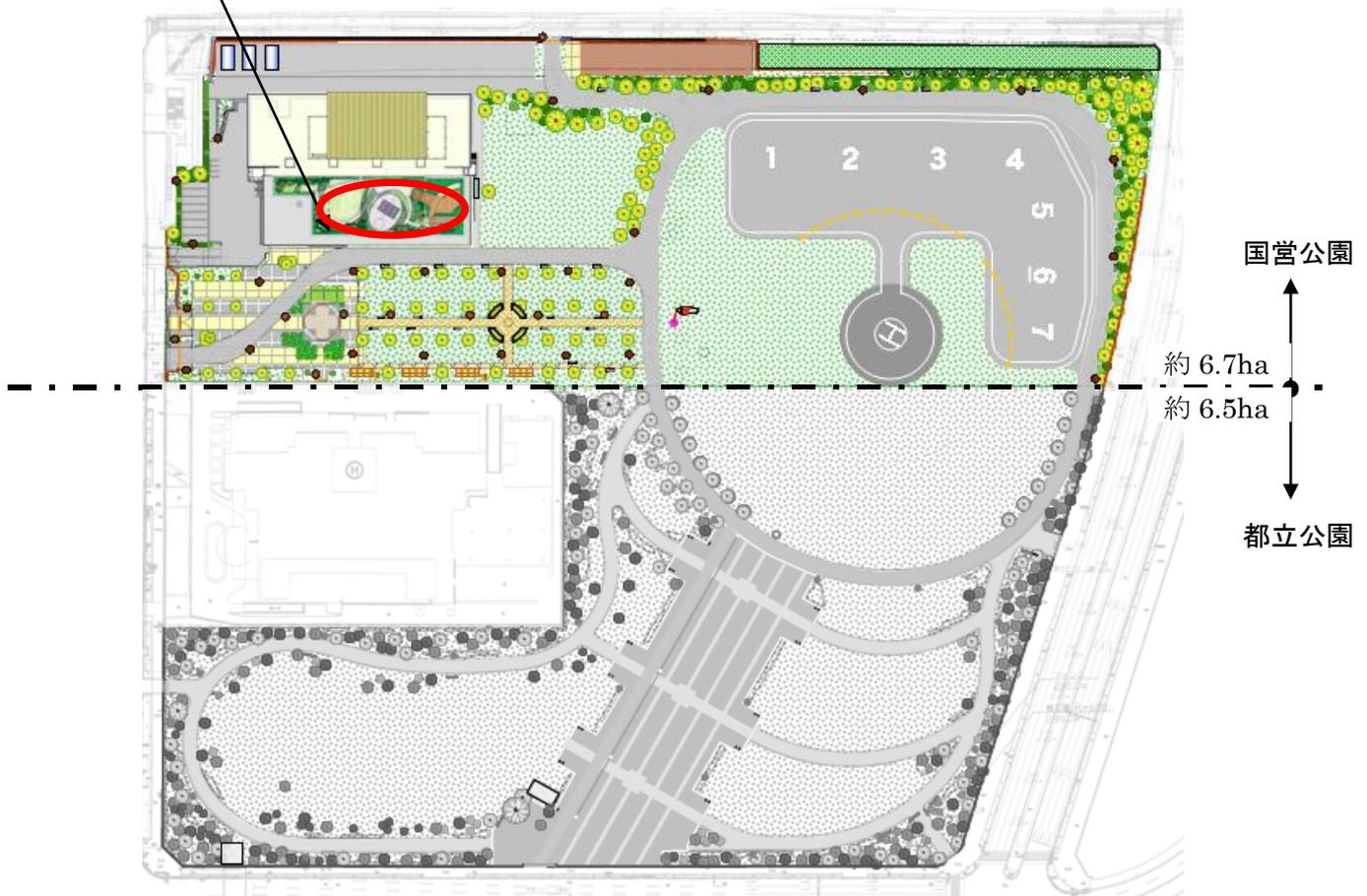
平成15年度から事業に着手し、平成22年7月1日に国営公園・都立公園（一部を除く）を同時開園し、約6.7ha（都営公園約6.5haを含め、総面積約13.2ha）を供用しています。年間入園者数について、コロナ禍以前は例年70万人前後（敷地内の防災体験学習施設には30万人前後の年間入館者数）でしたが、コロナ禍以降、令和3年度は約22万人まで減少しました。行動制限が緩和された令和5年度は約45万人（敷地内の防災体験学習施設には約25万人の年間入館者数）と回復傾向にあります。

2. 事業概要

- ① 引き続き防災公園としての公園機能の維持管理及び公園の運営を、計画的かつ適切に進めていきます。
- ② 利用者の防災力向上のため、防災体験学習施設の展示施設更新を行います。

**【防災体験学習施設】
展示施設更新**

【事業予定箇所】



明治記念大磯邸園（神奈川県中郡大磯町）

1. 公園概要

本邸園は、明治期の立憲政治の確立等の歴史や意義を後世に伝えるため、「明治150年」関連施策の一環として、神奈川県及び大磯町との連携の下、旧滄浪閣等の建物群及び緑地の一体的、有機的な保存・活用を図ることを目的に平成29年11月の閣議決定により設置されたもので、平成29年度に事業着手しました。

令和2年11月に第1期開園し、現在、旧大隈別邸・陸奥別邸跡のある東側区域の庭園部分を公開するとともに、令和7年度の全面開園を目指し整備を進めています。旧大隈別邸・陸奥別邸跡の邸宅については、令和6年度に暫定的に公開する予定です。

年間入園者数について、令和5年度は約1.3万人の入園がありました。

2. 事業概要

邸宅修繕及び庭園整備、エントランス棟の整備等を実施します。

【事業予定箇所】

